

慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社ジェイ・エス・エル

— 京都発 人材マネジメントカンパニー —

5

「派遣人材の質を高めたい！」¹。京都発のベンチャー企業ジェイ・エス・エル (JSL) は、主に技術者の人材派遣やコンサルティングを行う企業である。雇用のあり方が大きく変化するなかで「起業家輩出企業 No.1」を目指し成長を続けている。

雇用をめぐる現状と労働者派遣

10

雇用をめぐる現状

バブル経済が崩壊した1991年以降、景気の後退により雇用の削減が進んでいった。正規雇用が縮小する中で、やむなく非正規雇用として就労する者が増加している。これらの非正規雇用者は転職希望率が高い傾向にあり、失業率の増加とともに転職する人の数も増加していった。一方、正規雇用以外の様々な就業形態が多様化していくのに伴い、特に若年層で働くことに対する価値観も多様化し、パートタイム労働や派遣労働などを自発的に希望する者も増加していった。景気に対する不透明感が高まる中で、企業側からも人件費削減、雇用における柔軟性の確保、専門の人材、即戦力・能力のある人材を確保するため、非正規雇用の活用拡大が進んでいった。専門的業務の即戦力としては、契約社員や派遣社員を活用し、一方で人件費の削減と仕事の季節変動や景気変動による雇用量の変化に対応するためパートタイマーを増やすというように、必要に応じて従業員構成を変化させている。

15

20

このケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授 渡辺直登の指導のもと、同博士課程の佐野達が作成した。当ケースにおける企業および個人の意思決定や行動に関する記述については、その経営上の巧拙を例示することを目的としたものではない。
(2006年作成)

25

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp)。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

30

Copyright © 2005 は渡辺直登および佐野達が保有する。